

かんせんかくだい く と きょういよく 感染拡大を食 止めるためにご協力を

えんぼうしどうじゅうてん そ ち てきょう う
～まん延防止等重点措置の適用を受けています～

みえけん がつ にち えんぼうしどうじゅうてん そ ち てきょう う どうしょ がつ にち きかん
三重県は1月21日から「まん延防止等重点措置」の適用を受けています。当初は2月13日までの期間で
かんせんじょうきょう おさ がつむいか えんちよう みえけん しんがた
したが、感染状況が収まらないことから3月6日まで延長されました。三重県からは、新型インフルエンザ
とうとくべつそちほう もと こんざつ ばしよ かんせん たか ばしよ がいしゆつ いどう さ せいかつ いじ
等特別措置法に基づき、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出や移動を避けること、生活の維持に
ひつよう ばあいどう のぞ けんきょう こ いどう さ どういつ どういつ かいしよく にんい か
必要な場合等を除き、県境を越える移動は避けること、同一グループの同一テーブルでの会食は4人以下と
ようせい
することなどが要請されています。

よっかいちし みえけん と く くわ えんぼうしどうじゅうてん そ ち きかんちゆう ししゆさい げんそく
四日市市においては、三重県の取り組みに加え、「まん延防止等重点措置」の期間中、市主催のイベントは原則
ちゆうし えんき たいおうほうしん けつてい けつてい う じんけん てんぱく きょうしつ
中止または延期とするなどの対応方針を決定しています。この決定を受け、人権プラザ天白においても、教室
かつどう じんぶんきょうかつどう じきょうどう かいさい ちゆうし
活動や人文 教 活動におけるレッツ、トゥモロー、チャレンジの事業等は開催を中止しています。しかし、
きょういくしゅうかいしよ おこな こ いばしよ かつどうじきょう としよ か だ けいぞく じしし
教育 集会所で行っている子どもの居場所づくり活動事業や図書貸し出しについては継続して実施してい
ます。

しんがた かいめせしゅ はじ しゅうだんせしゅ こべつせしゅ はじ じぜん
また、新型コロナウイルスの3回目接種も始まっています。集団接種、個別接種も始まっており、ともに事前
の予約が必要で、接種券は3回目接種月にあたる前月の中旬に発送される予定ですので、接種を希望され
るかたは接種券が届いてから予約をお願いします。なお、ワクチン接種は希望者の同意に基づき行われるもので
しよくば まわ かた せしゅ きょうせい せしゅ う ひと たい ひぼうちゅうしゅう へんけん さべつ
す。職場や周りの方などに接種を強制することや、接種を受けていない人に対する誹謗中傷、偏見や差別に
こうい ぜつたい おこな
つながる行為は絶対に行わないようにしてください。

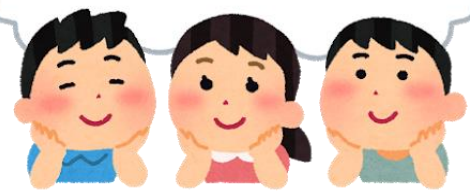
か うんえい みなさま なに めいわく りかい きょうりよく
コロナ禍におけるプラザ運営において、皆様には何かとご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力を
ねが
いただきますようお願いいたします。

てんぱく まんぱく キッチン オープン!

てんぱくじんけん かい ひながしょうがっこうく しょうがくせい たいしゅう
天白人権まちづくりの会では、日永小学校区の小学生を対象に、
しよくどう はじ
「こども食堂 てんぱく まんぱく キッチン」を始めました。
だい かいめ がつようか ど じ てんぱくだいにしゅうかいしよ あつ こ
第1回目は1月8日(土)11時から天白第二集会所に集まった子ども
おりのう ていきょう
たちに、カレーライスを無料で提供しました。

さんか こ かんそう おお
参加してくれた子どもたちからは、「おいしかった」という感想が多く
き じかい よ
聞かれました。次回のメニューについても、いろいろとリクエストが寄
せられました。

おいしく たのしく しょくいく
食育で
みんなが つながる まちづくり



たくさんの子どもたちが、おなかいっぱいになって笑顔で帰っていきもらえよう、今後も定期的な開催を
めざして活動していきます。次回の開催は3月末の春休みを予定しています。



てんぱく おんこちしん ～天白、温故知新～ NO.8

ぜんこう つづ
(前号の続き)

ぜんこくすいへいしゃ 『全国水平社』 とは・・・

ならけん ひさべつぶらく う そだ さかもとせいいちろう さいこうまんきち こまいきさく ちゅうしん ひさべつぶらく ひとひと
奈良県の被差別部落に生まれ育った坂本清一郎、西光万吉、駒井喜作たちが中心となり、被差別部落の人々
みすか て かいほううんどう ぜんこくてき そしき すいへいしゃ せつりつ
との自らの手による解放運動を全国的に組織するために、「水平社」を設立しようとしました。

だいしやう ねん がついつか すいへいしゃそうりつ しゆいしよ よ ひ ぜんこく はいふ
1922 (大正11) 年2月5日に水平社創立の趣意書であるパンフレット『良き日のために』を全国に配布し
ました。この『水平』という名前は、人間社会におけるあらゆる水平関係の確立、つまり、自由・平等を求め、
さべつ てっばい いと めいめい
あらゆる差別を撤廃していくという意図をもって命名されました。

どうねん がつみつか きやうと おかざきこういどう げんざい きやうとかいかん ぜんこくかくち ひさべつぶらく ひと
そして、同年3月3日、京都の岡崎公会堂 (現在の京都会館) において、全国各地から被差別部落の人びと
あつ ぜんこくすいへいしゃそうりつたいかい かいさい
が集まり、全国水平社創立大会が開催されました。

すいへいしやう きほん さべつはつげん さべつこうい ひと あやま ただ はんせい もと こうどう どうじ ぶらくさべつ
水平運動の基本は、差別発言や差別行為をした人の誤りを正し、反省を求める行動でした。当時は、部落差別
へいき ふつう さべつ どうぜん しゅちやう じたい ようい
をしても平気でしたのが普通でした。「それは差別だ」と当然の主張をすること自体、容易でなかったのです。

すいへいしや さべつじけん お どうにん はんせい もと どうじ にど おな さべつじけん お
水平社は差別事件を起こした当人の反省を求めると同時に、二度と同じような差別事件が起らないように、
しゃかい さべついしき か とりよく
社会にある差別意識を変えていくことに努力しました。ここきききききききき

ぜんこくすいへいしやそうりつたいかい 全国水平社創立大会

ざちやう みなうめきち かいがい じ はし さかもとせいいちろう けいかほうこく こうりやうろうどく つづ さいこうまんきち そうあん
座長の南梅吉の開会の辞に始まり、阪本清一郎の経過報告のあと、綱領朗読に続いて、西光万吉が草案
きそう すいへいしやせんげん こまいきさく なみだ なんと ぜつく よ あ かいじやう あらし はくしゅ かんげき
を起草した「水平社宣言」を駒井喜作が涙で何度も絶句しながら読み上げ、会場は嵐のような拍手と感激の
なみだ さいたく
涙をもってこれを採択した。

この「水平社宣言」は人間の自由と平等を求める、日本最初の人権宣言として高く評価されるものであり、
せんご にほんこくけんぽう せいしん さきど
戦後の日本国憲法の精神を先取りするものでした。

ことし すいへいしやそうりつたいかい ねん
今年(ことし)は水平社創立大会から、ちょうど100年になります。

よっかいちしきやういくいんかいへんしゅうはっこう がっこうじんけんきやういふ てび だい しゅう ぶらくしがくしゅうちいきりしやう よっかいち ぶらくし
(四日市市教育委員会編集発行 学校人権教育の手引き第45集 部落史学習地域資料Ⅱ『四日市の部落史』より)